



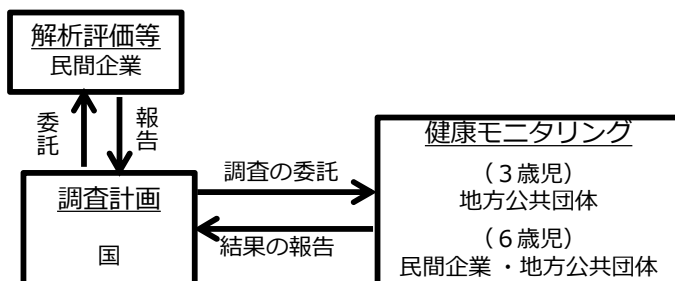
環境保健サーベイランス調査費（健康影響等調査）

平成29年度要求額
193百万円（192百万円）

背景・目的

環境保健サーベイランス調査は、昭和63年の公害健康被害補償法改正（第一種地域指定解除）に伴い、地域人口集団の健康状態と大気汚染との関係を定期的・継続的に観察し、必要に応じて所要の措置を講ずるために、平成8年度から毎年度実施している。

事業スキーム



事業概要

地域人口集団の健康状態と大気汚染との関係を定期的・継続的に観察する。また、近年の大気汚染の状況や局地的大気汚染に関する科学的知見等を考慮して本調査の改善を行い、大気汚染と健康状態の観察の更なる充実を図る。

期待される効果

地域人口集団の健康状態と大気汚染との関係を定期的・継続的に観察することで、必要に応じて所要の措置を早期に講ずることができる。また、局地的大気汚染の考慮及び大気汚染指標としてPM2.5等を追加することで、本調査によるより効果的な監視体制の充実を図ることができる。

課題

幹線道路沿道における自動車排ガスへの曝露による健康影響を注視する必要

現在のサーベイランス調査

健康モニタリング

毎年 3歳児 各9万人程度
6歳児 を対象

環境モニタリング

大気汚染常時監視データ
(NO₂・NO_x・SO₂・SPM)

ぜん息有症率等と大気汚染の関連を解析評価

課題

PM2.5の越境汚染等による健康影響の懸念

【サーベイランス調査充実のための検討】

- ◆ そらプロジェクト（局地的大気汚染の健康影響に関する疫学調査）の知見を活用し、局地的大気汚染を考慮した濃度推計モデルを検討
- ◆ PM2.5等の評価も追加するため推計濃度の算出方法等を検討

地域人口集団の健康状態と大気汚染との関係の定期的・継続的な監視体制の充実